

2025.06.22

会議名	横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2025 年度総会 議事録	文責	沢田、 旭区支部 伊藤
開催日時	2025 年 5 月 25 日		
場所	横浜市民防災センター研修室		
参加者 (敬称略)	会場出席 41 名		

日時：2025 年 5 月 25 日(日)14:30～16:10

場所：横浜市民防災センター会議室

開会の辞（鈴木副会長兼事務局長）

- ・本日はご多用のところ、また休日のところ、ご出席頂き有難うございます。
- ・只今から、横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2025 年度総会を開始致します。

会長挨拶（五木田会長）

- ・本日はお忙しい中総会にご参加頂き有難うございます。
- ・昨年度の総会で役員が改選され、本日は新体制で初めての総会となります。引続き役員一丸となって本部を運営していくので宜しくお願いします。
- ・昨年 1 月 1 日に発生した能登半島地震は、今年 3 月 21 日に漸く全ての避難指示が解除され、これからインフラも含めた復旧、復興が本格的に行われることとなります。
- ・関東地方に影響がある地震としては 30 年以内に高い確率で発生すると言われている「首都直下型地震」と「南海トラフ地震」があります。今年 3 月に発表された被害想定は「首都直下型地震」では数万人の死者、「南海トラフ地震」では最大 30 万人近くの死者が予想されていますが、いずれも迅速な避難や情報伝達により約 7 割減少すると推定されています。
- ・「災害時における迅速かつ正確な情報伝達」を行う当協会の役割は重要であり、これからも皆様と一緒に協力して役割を果たしていきたいと考えます。新体制の協力会としては課題が多いですが、9 月の「防災フェア」「横浜市総合防災訓練」参加を通して発災時にアマチュア無線が役立つことを確認するとともに市民に対してアマチュア無線の必要性を PR していきたいと思います。
- ・本日の総会を通じて、更に横浜市との間に強固な協力体制を築いていきたいと思っていますので、忌憚のない、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

来賓挨拶（来賓：総務局危機管理室危機管理部緊急対策課システム担当課長 直井克也様）

- ・本日は総会にご招待頂き有難うございます。
- ・協力会の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。僭越ではありますがひとことご挨拶申し上げます。本市と横浜市アマチュア無線非常通信協力会の関係は、昭和 47 年 8 月 20 日に「災害時非常無線通信の協力に関する協定」を締結して以来今年度で 53 年目となります。長きに亘り緊密な協力体制を給って頂いており感謝申し上げます。
- ・昨年能登半島地震が起きて大きな被害をもたらしました。また先ほど会長からお話しがあった南海トラフ地震について、被害想定が見直されそれが公表されたことを考えると、社会に災害対策意識の醸成が必要である状況だと考えています。

- ・情報収集の観点からは、能登の地震においても必要な情報がなかなか入ってこないという状態であったと聞いておりますが、災害時には被害の状況や避難所の情報を適切に収集し利用することが適切な支援、ひいては皆様の命を守ることにつながるかと考えています。また、避難所以外の場所にも多くの方が避難していて、それらの方々の情報をどうやって集めるのかということも課題となっています。
- ・一方情報伝達の観点からは、大きな災害の時には防災無線のスピーカーが壊れたり停電でテレビが見られなかったり携帯電話が繋がらなかったり道路が寸断されてしまったりと、ありとあらゆる被害が想定され情報が伝わらない可能性があります。
- ・大災害時におけるこれら情報収集と情報伝達の課題に対してどう対策するかが大きな課題となっています。
- ・このような課題解決のために本市としても様々な通信手段を用意していますが、皆様のアマチュア無線も重要な通信手段であると位置づけております。
- ・今後とも本市の防災行政に対してご協力を宜しくお願い致します。
- ・最後に皆様のご健勝を祈念して挨拶に代えさせていただきます。

議長選出、書記選出

- ・司会は、会場参加者から議長の立候補あるいは推薦を募るも立候補あるいは推薦がないので、当会の規約（規約 15 条 1 項の規定）に従い、会長が議長に陸川理事を指名した。その後、議長が書記の希望者を会場に募るも立候補者がいないので書記には沢田理事と伊藤旭区支部長が議長より指名され、以下 7 項、8 項の議事を進行した。

総会成立の報告（鈴木事務局長）

- ・鈴木事務局長から、総会定数 59 名（支部長・代議員の小計 53 名に本部プロパー役員 6 名）中、出席 57 名（会場出席 41 名、委任状提出 16 名）との報告があった。
- ・規約第 16 条 1 項の規定により、本総会が成立したことが報告された。

議案の審議及び報告

第 1 号議案 2024 年度事業報告、会計報告・監査報告

- ・以下の審議を経て挙手による賛否を確認したところ、挙手多数にて承認された。

<2024 年度事業報告>

- ・五木田会長から資料 1-1 に基づき報告があった。
- ・特記事項：7 月 31 日(水)市役所にメールで 2025 年度予算を確認したところ、各支部分として 143,410 円が確保されたことを確認した。費目の内訳は、鶴見区支部にアンテナ、南区支部及び神奈川区支部にマイク、保土ヶ谷区支部にトリプレクサとアンテナである。該当支部は区役所に確認されたい。

Q&A&C&R（Q：質問、A：回答、C：コメント、R:要求）

Q1：11 月 23 日(土)の“主内容”欄記載の“港南区支部活動報告”は誤記につき削除。同日開催の第 2 回支部長会“主内容”に“港南区支部活動報告”と追記すべきである。（南区支部 山田支部長）

A1：誤記につき、ご指摘の通り訂正する。

Q2:市役所に各支部の活動報告をしているか。（港北支部 渡辺支部長）

A2：横浜市には会員人数と活動サマ리를渡している。今年度も 6 月 6 日（金）10:00 の市役所訪問時に資料を渡して説明する。（直井課長はアマチュア無線に興味を持って聞いて頂いている）

＜2024 年度会計報告＞

- ・南晴理事から、資料 1-2 に基づき報告があった。

Q&A&C&R (Q : 質問、A : 回答、C : コメント、R:要求)

Q3 : 通信費の 84 円は切手代か。(** 支部 ** 氏)

A3 : 切手代である。

＜2024 年度会計監査報告＞

- ・日暮監事から、現金出納簿と領収書・現金とを照合し、会計処理として正確であることを確認した旨報告があった。

Q&A&C&R (Q : 質問、A : 回答、C : コメント、R:要求)

- ・なし

第 2 号議案 2025 年度事業計画 (案)、予算 (案)

- ・以下による審議を経て挙手による賛否を確認したところ、挙手多数にて承認された。

＜2025 年度事業計画 (案) ＞

- ・五木田会長から、以下の説明があった。
 - －本部の役割、本部としての事業について (資料 2-1 の 1 ページ目)
 - ・本部としての主要事業及びその目的を資料の通り明確にした。また、これらの本部事業を本部役員毎に担務として割当てた。本部役員毎の担務は後日ホームページを参照頂きたい。
 - －2025 年度活動計画 (案) について (資料 2-1 の 2 ページ目)
 - ・資料に記載したイベントの日付は一部を除き、協力会としての案を記載している。
 - ・2025 年 3 月末時点の会員数は 971 名で、前年度比 14 名減である。市役所に提出した名簿は活動に対する保険付保の根拠となる。
 - ・5 月 27 日(火)の第 1 回理事会では、現役が多いことを考慮し、各理事の業務役割り分担の見直しを行う。
 - ・6 月 6 日(金)の市役所訪問時横浜市側の出席者は、直井課長、中尾係長、齊藤担当出席を予定している。
 - ・9 月 6 日(土)～7 日(日)の横浜防災フェアの開催時間は昨年と同じであれば 10:30～17:00 である。暑い時期なので暑さ対策と支部員のローテーション等が大切となる。
 - ・11 月 7 日(金)に市役所⇄区役所間通信テストと区役所無線機の現状調査を実施する。
 - ・資料には記載していないが、2026 年度は本部役員改選期である。2026 年 1 月 20 日(火)選挙告示、2 月 1 日(日)立候補受付開始、2 月 20 日(金)〆切である。

＜2025 年度予算 (案) ＞

- ・南晴理事から資料 2-2 に基づいて説明があった。

Q&A&C&R (Q : 質問、A : 回答、C : コメント、R:要求)

Q4：無料レンタルサーバの用途は立っているか。(栄区支部 加峯代議員)

A4：マイクロソフトの無料サイト (GitHub) を予定している。

Q5：無料サーバを利用するとなると、過去の実績から支出は切手 1 枚程度となる。各支部から 500 円徴収することについて理事会で議論はあったか。(栄区支部 加峯代議員)

A5：議論しようとした。今年度は過去との継続性を尊重して徴収することにした。今後については検討する。

R6：横浜防災フェア、横浜市総合防災訓練への参加は、市民への PR の場との説明があった。市民への PR の場という意味では HP の更新が必要である。(栄区支部 加峯代議員)

A6：要望として承った。

Q7：区役所間の通信テストはやらないのか。(戸塚支部 合場支部長)

A7：予定はしていない。(従来通り)

Q8：例年市役所と区役所間の通信テストは週末に実施するよう横浜市に要請してきたが、今年度は協力会からの提案時点で 11 月 7 日(金)と平日になっている。平日だと現役の若手が参加しにくく、後継の人材育成の観点からも支障がある。横浜市として働き方改革が必要なことは理解できるが、少なくとも協力会からの提案としては週末実施として頂けないか。(旭区支部 伊藤支部長、南区支部 山田支部長)

A8：役所側の負担増と協力会側の負担増のバランスと考える。これまで区役所側の負担も少ないだろうと区役所開庁の土曜日(第 2、第 4 土曜日)実施を提案してきたが、それでも 18 区役所の出勤者がかなりの人数になり大変であるとの市役所回答であった。本部役員も現役が多いため平日実施は避けたいが、やむを得ないと考えて今年は当初から平日開催を提案した。

C8：平日開催の場合西区では区役所の職員が交信を迷惑そうにしているし協力会側も遠慮せざるを得ない状況にある。このような現場の状況を市役所に伝えて頂きたい。(西区支部 今井支部長)

A8：市役所に伝える。

C9：予備費 13,000 円を防災フェア、防災訓練に掛かる活動費用として担当支部に充ててはどうか。(港北支部 渡辺支部長)

A9：よいご意見である。すくない予算ではあるが今後検討していく。

報告事項

- ・資料に基づいて以下の報告があった。

- －会員の状況について(資料 3-1)(鈴木副会長兼事務局長)

- －通信テストの報告(資料 3-2)(酒村理事)

- －区役所無線局現状調査の報告(資料 3-3)(沢田理事)

- －支部活動報告(サマリー版)(資料 3-4)(陸川副会長)

Q&A&C&R (Q：質問、A：回答、C：コメント、R：要求)

R10：西区の同軸ケーブル劣化が進んでいる。来年度予算に西区の同軸ケーブル更新とマイク更新もお願いしたい。(西区 今井支部長)

その他

Q11：戸塚区役所の名称が入ったヘルメットとビブスが尽きて、新入会員に貸与できない。もともとどこから支給されたものか不明。戸塚区役所に追加支給を依頼した結果、特定の団体にそのようなものを支給することはできないとの回答だった。区役所からヘルメットやビブスの支給があったか、他の支部の状況をお聞きしたい。(戸塚支部 合場支部長)

A11：支部長会でアンケートを取り検討する。

R12：各支部のビブス、ヘルメット保有状況を本部で調査し、本部から市へ支給要望を出して頂きたい。(戸塚支部 合場支部長)

A12：本部で各支部のビブス、ヘルメット保有状況を調査する。

R13：金沢区支部は同じヘルメットを被ろうと、今年4月の総会で自費でヘルメットを調達しテプラーで支部名等を貼って支部員へ配布した。横浜市から何らかの補助があれば有難い。(金沢支部 平石支部長)

C14：横浜市のマークをヘルメット等に使う場合の許可を得たか確認してほしい。

A14：本部で確認する。

R15：支部活動報告(サマリー版)(資料3-4)で西区支部の人数が32名となっているが、31名に訂正して頂きたい。(西区支部 今井支部長)

R16：アンテナを沢山つけている車が検問に引っかかったという情報がある。支部メンバーに伝えておいた方がよい。身分証明書や車に貼付するステッカー等を市が発行するよう予算確保を依頼して頂きたい。(西区支部 今井支部長)

R17：ヘルメット等の支給について戸塚区役所から「特定の団体にそのようなものを支給することはできない」との回答だったとお聞きしたが、我々は横浜市や区と協定を結んで活動している団体であり、消防団並みの扱いを受けている。一般の団体ではないこと戸塚区役所の見解を改めて頂きたい。(南区支部 山田支部長)

松永理事退任挨拶

- ・松永理事から、勤務先が遠隔地であり対面での会合参加が難しいこと、体調が芳しくないことから、本部理事を退任する旨の挨拶があった。

閉会の辞

- ・酒村理事から閉会の挨拶があった。

以上

